

2009年11月12日

管対協会各位

NPO 法人京滋マンション管理対策協議会

管対協シンポジウム2009
乗り越えよう！「二つの老い」
～ 管理組合の自立とマンションの自治 管理組合方式の可能性 ～
ご案内

今年も添付チラシのとおり12月6日(日)、本能寺文化会館におきまして、恒例の「管対協シンポジウム」を開催いたします。今年の管対協シンポジウムは、管理組合方式の可能性をテーマにして「二つの老い」を乗り越える道を探りたいと思っております。

講演・・・最新版「日本のマンションの現場報告」

朝日新聞に06年4月から09年3月まで毎週連載された「わが家のミカタ」は、素朴な疑問や強烈な思い込みで、庶民の気持ちをそのまま日本の住宅にぶつけた読み物でした。その結果、紙面には、日本の住宅現場の最前線がリアルに描き出されました。講師の神田さんは、その取材を担当した記者です。生々しい目でみた日本のマンションの現実を報告していただきます。

パネルディスカッション・・・早く手を打たないと多くの橋のように崩落寸前に・・・

国交省は、この10年間、マンションに対しいろんなことをやってきました。国家資格をつくり、多くのマンション管理士が誕生しました。また、修繕履歴を登録して管理を評価できるようにしようと「マンションみらいネット」も立ち上げました。建替え円滑化法をつくったり区分所有法を改定して、建替えを促進しようともしました。しかし、どれもうまくいっていません。

それどころか、マンション管理の主体といわれる管理組合では、役員のなり手がなく、管理組合の活動に関心がない、管理組合運営のトラブルが増える一方など、管理組合を中心としたマンション管理の方式が、ぐらついています。

今、マンション管理に何が必要なのか？ そのためにはどのようなマンション政策が必要か？ 京都選出の各党国会議員に3人の論客が迫ります。

年末のあわただしい時期ではありますが、非常に興味深いシンポジウムですので、会員の皆様、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

管対協シンポジウム2009

乗り越えよう！「二つの老い」

～管理組合の自立とマンションの自治 管理組合方式の可能性～

日時：12月6日（日）13：30～17：00

会場：本能寺文化会館 5階ホール

京都市中京区御池通河原町西入ル（京都市役所向かい側） TEL:075-231-3123

1. 講演（13：35～14：50）



『わが家のミカタ』から見たマンションの現実

講師：神田 剛氏（朝日新聞記者）

06年4月から09年3月まで朝日新聞朝刊に連載された「わが家のミカタ」は、マンションを含めた目下の日本の住宅を最前線で取材したリアルな現場報告です。神田剛氏は、その担当記者として日本のおかしな住宅事情にツッコミを入れ、読者の視点で斬り込んで大向こうから拍手喝采を浴びました。今年6月にはこの連載をまとめた「わが家のミカタ 天下無敵の住まい術」（左写真が表紙）が岩波書店から出版されました。

2. パネルディスカッション（15：00～17：00）

「どーなるマンション？どーするマンション！各党のマンション政策を問う」

パネリスト：京都選出国會議員（民主党、共産党）

神田 剛氏（朝日新聞記者）

山岡淳一郎氏（ノンフィクション作家）

山口 実氏（建物診断設計事業協同組合理事長）

コーディネーター：谷垣 千秋（NPO 法人京滋マンション管理対策協議会代表幹事）

資料代：500円（会員） 1000円（一般）

主催：NPO 法人京滋マンション管理対策協議会

共催：NPO 法人マンションセンター京都

後援：京都府、京都新聞社、朝日新聞社、NHK 京都放送局

問合せ先：管対協事務局（TEL:075-351-7421 FAX:075-371-1564）



<本能寺文化会館略図>